

平成 22 年度
事業計画書

自 平成 22 年 4 月 1 日
至 平成 23 年 3 月 31 日

社団法人日本ボート協会

平成 22 年度事業方針

当年度は、定款で定める各事業を着実に実行するとともに、本会が掲げる「国際競技力の強化」、「ボート人口増大」の二大目標を軸に種々の事業に取り組む。

「全日本選手権大会及び競漕会の開催」については、各種の全日本選手権大会に於ける競技・競争のレベルアップによって大会の活性化に取り組むとともに、外国クルーの全日本軽量級選手権への参加促進、マスターズレガッタの発展、中学生選手の人口増大と育成などを通じて日本ボート界の全体的な底上げを図りたい。

「国際競漕大会への派遣」については、2012 年ロンドンオリンピックに向けての強化体制が 2 年目を迎える。昨年に引き続き新たな試みも取り入れ、着実に国際競技力の向上を図り、国際舞台で成果を上げていきたい。また、ナショナルチームと各団体との連携を密にし、強化の実を上げるために強化指定団体制度を一層強化するなど、持てる力を結集する所存である。

「調査・研究・指導・強化及び普及啓発」については、審判員の養成・研修、各種の指導者、インストラクター/アドバイザー養成を着実に実施していく。特に、各種の指導者の養成は競技者人口の増大に密接に関わることであり、養成講習会の開催回数の増加、開催場所の多様化を通じて講習会の参加者増大を図っていきたい。

「選手強化事業と競技者育成事業」は、この経済環境の厳しい中、選手所属企業・団体からの協力を得て、選手強化活動の実を挙げていきたい。

また、普及啓発事業として、第 23 回全国マシンローイング大会を開催し、昨年を超える参加者を集めるとともに、全国的に世代を超えたボート普及活動の柱として開催内容の充実を図っていく。ナショナルチームの活動を多くの方々から支えてもらうために「Crew JAPAN」の愛称を導入し、ナショナルチーム選手は自分たちの代表、との意識の醸成を図るべく、Crew JAPAN サポーターズ倶楽部メンバー募集を進める。

メディカル・ドーピング検査関連は、大会医事務に加えて、選手コンディショニング、体力測定を実施して選手の競技力強化に資する情報の提供などにも積極的に関与していく。

「競技者資格の決定」、「競漕艇・附属品規格の決定と審査」、「ボート競技関連図書の刊行」の諸事業についても、都道府県協会、競技団体、その他関係者からの要望に迅速に応えるべく情報収集、整理、配布などを鋭意進めていく。

「ボート人口増大と魅力向上プロジェクト」については、都市レガッタ開催等のボートへの魅力と関心を高める仕掛け作りを通じて、人口増大の一翼を担えるまでに成長させたい。「財政強化プロジェクト」については、現下の経済・社会状況の下、スポーツには厳しい環境ではあるが、積極的に支援者、賛同者を見いだす努力を行って協会財政の改善・強化を図る方針である。その達成のためには協会財政の強化が急務であり、関係各位には特段のご支援とご協力をお願いしたい。

今年度も、全国のボートを愛するオアズマンの皆様の声に真摯に耳を傾けつつ、日本ボート界の健全な発展を願って本会の重要事業・プロジェクトの推進に総力を挙げて取り組み、その結果を広く関係者と分かち合っ共々に前進していきたい。

■平成 22 年度実施事業

本会は、ボート競技を振興して日本国民の体力の向上とスポーツ精神を育成することにより、わが国文化の向上に寄与することを目的として、次の事業を行う。

1. 全日本選手権大会及び各種競漕会の開催に関する事業

本年度は、各種の全日本選手権大会及び競漕会を以下のとおり開催する。

競漕会名	開催期日	開催場所・会場
第 3 回全日本マスターズレガッタ	5/15 (土) ~16 (日)	兵庫県・円山川城崎漕艇場
JAPAN CUP 第 32 回全日本軽量級選手権大会	5/21 (金) ~23 (日)	埼玉県・戸田ボートコース
JOC ジュニアオリンピックカップ 第 8 回全日本ジュニア選手権大会	6/11 (金) ~13 (日)	熊本県・菊池市斑蛇口湖ボート場
第 60 回全日本社会人選手権大会	7/3 (土) ~4 (日)	宮城県・宮城県長沼ボート場
第 30 回全日本中学選手権競漕大会	7/24 (土) ~25 (日)	岐阜県・長良川国際ボートコース
第 58 回全日本高等学校選手権競漕大会	8/7 (土) ~10 (火)	沖縄県・塩屋湾特設ボート場
第 37 回全日本大学選手権大会	8/19 (木) ~22 (日)	埼玉県・戸田ボートコース
第 50 回オックスフォード盾レガッタ	8/21 (土) ~22 (日)	埼玉県・戸田ボートコース
第 88 回全日本選手権大会	9/9 (木) ~12 (日)	埼玉県・戸田ボートコース
第 65 回国民体育大会ボート競技	9/26 (日) ~29 (水)	千葉県・小見川ボート場
第 51 回全日本新人選手権大会	10/15 (金) ~17 (日)	埼玉県・戸田ボートコース
第 22 回全国高等学校選抜大会	23/3/25 (金) ~27 (日)	静岡県・浜松市天竜ボート場

2. オリンピック大会及びこれに準ずる国際競漕大会に日本を代表するクルー及び役員を選定し、参加させることに関する事業

(1) 国際競漕大会派遣事業

本年度は、以下の国際競漕大会へ日本代表選手団を派遣する。

競漕大会名	開催期日	開催国・開催地
FISA ワールドカップ第 1 戦	5/28 (金) ~30 (日)	スロベニア・ブレド
FISA ワールドカップ第 2 戦	6/18 (金) ~20 (日)	ドイツ・ミュンヘン
FISA ワールドカップ第 3 戦	7/9 (金) ~11 (日)	スイス・ルツェルン
第 16 回アジアジュニア選手権大会	7/20 (火) ~23 (金)	中国・広州
FISA U23 世界選手権大会	7/23 (木) ~26 (日)	ベラルーシ・ブレスト
FISA 世界ジュニア選手権大会	8/5 (水) ~8 (土)	チェコ・ラシセ
FISA 世界選手権大会	10/31 (日) ~11/7 (日)	ニュージーランド・カラピロ
第 16 回アジア競技大会	12/13 (月) ~18 (土)	中国・広州

(2) 国際審判員派遣事業

FISA 及び ARF 主催競漕会で審判業務に従事するため、国際審判員を以下の国際大会へ派遣する。

競漕会名	開催期日	開催国・開催地
FISA ワールドカップ第3戦	7/9 (金) ~11 (日)	スイス・ルツェルン
FISA ジュニア世界選手権大会	8/4 (水) ~7 (土)	チェコ・ラシセ
FISA 世界大学選手権大会	8/12 (木) ~15 (日)	ハンガリー・ゼゲド
FISA 世界選手権大会	10/31 (日) ~11/7 (日)	ニュージーランド・カラピロ
アジアジュニア選手権大会	7/20 (火) ~23 (金)	中国・広州
第16回アジア競技大会	11/12 (金) ~27 (土)	中国・広州

(3) 国際関係事業

国際連盟の事業方針、競技規則、大会開催計画、各国の動向など、最新情報の把握するため、FISA、ARF 総会へ担当役員他を派遣する。

会議名	会議日程	開催国・場所
国際漕艇連盟 (FISA) 年次通常総会	11/8 (月)	ニュージーランド
アジア漕艇連盟 (ARF) 年次通常総会	7/23 (金)	中国・広州

3. ボート競技に関する諸規則の制定に関する事業

本年度は、以下のような事業を実施する。

(1) 競漕規則の改定に関する事業

平成 22 年 4 月 1 日施行を目途に、審判員規定の一部改訂を行う。

(2) コース規格規定に関する事業

本会コース規格規定により、認定 (新規・更新) 依頼を受けたコースについて、実地調査と認定業務を行う。

4. ボート競技に関する調査・研究・指導・強化ならびに普及啓発に関する事業

本年度は、以下のような事業を実施する。

(1) 調査・研究関係事業

(財) ミズノスポーツ振興財団の助成金交付を受け、下記の調査・研究事業を継続実施する。

- 1) 選手の体力測定データの収集・分析に関する調査研究。
- 2) ローイングスタイル計測装置の開発と応用に関する調査研究。

(2) 審判事業並びに審判員養成事業

- 1) 本年度の本会主催・主管大会へ審判長、副審判長、審判員を派遣し、大会審判業務を行う。

2) 審判員の養成と技量向上を図るため、以下の審判員資格試験と認定試験及び審判員研修会と講習会を開催する。

研修会名称	開催日程・場所	参加人数
第71回審判員研修会 (B級審判員認定試験併催)	5/21(金)～23(日) 埼玉県・戸田ボートコース	30名
第72回審判員研修会 (B級審判員認定試験併催)	10/15(金)～17(日) 埼玉県・戸田ボートコース	40名
審判員講習会(C級審判員認定試験)	都道府県協会の要請により随時開催	

(3) 公認スポーツ指導者養成事業

(財)日本体育協会公認スポーツ指導者養成事業による公認スポーツ指導者養成に関して、本年度は以下のような養成講習会を開催する。

養成指導者名	開催日程	開催場所	養成数
ボートコーチ	10/30(土)～11/3(水)	埼玉県戸田市	30名
ボート指導員	10/30(土)、31(日)	山形県酒田市	30名
	11/27(土)、28(日)		
	11/6(土)、7(日)	静岡県浜松市	30名
	11/13(土)、14(日)		
	11/20(土)～23(火)	青森県青森市	30名
	11/27(土)～28(日)		
12/4(土)、5(日)	大阪府高石市	30名	
12/18(土)、19(日)			
1/15(土)、16(日)	埼玉県戸田市	30名	
スポーツドクター	別途決定	東京都内	1名
アスレティックトレーナー	7月～23年3月	東京都内	1名
全国指導者講師研修会	23/2/5(土)～6(日)	埼玉県戸田市	20名
資格更新義務研修	4/19(日)	ナショナルトレセン	20名
	5/2(日)	滋賀県大津市	20名
	10月～12月	埼玉県戸田市	30名

(4) 日本ボート協会認定ボートインストラクター養成事業

本会認定ボートインストラクター養成については、本年度は以下のような養成講習会を開催する。

事業名	開催日程	開催場所	主管団体	養成数
第1回養成講習会	6月	北海道札幌市	北海道ボート協会	30名
第2回養成講習会	6月	青森県むつ市	青森県ボート協会	30名
第3回養成講習会	8月	秋田県秋田市	秋田県ボート協会	30名

第4回養成講習会	11月	広島県広島市	広島県ボート協会	30名
第5回養成講習会	23/3月	岐阜県川辺町	岐阜県ボート協会	30名

(5) 日本ボート協会認定セーフティアドバイザー養成事業

本会認定セーフティアドバイザー養成については、本年度は以下の研修会を開催する。

なお、本年度から各水域における安全責任者も研修の対象とする。

事業名	開催日程	開催場所	受講者数
第5回研修会	12/5(日)	埼玉県戸田市	30名

(6) セミナー開催事業

セミナー開催については、本年度は以下のセミナーを開催する。

セミナー名	開催日程	開催場所	講師
コーチセミナー	5/21(木) 随時	埼玉県戸田市	Mr. D. Maxrath (協会ヘッドコーチ)

(7) 選手強化事業

選手強化事業については、本年度は以下のような事業を実施する。

区分	事業名	開催日程	開催場所
シニア	4月強化合宿(1)	4/9(金)～17(土)	埼玉県・戸田ボートコース
	4月強化合宿(2)	4/26(月)～30(金)	埼玉県・戸田ボートコース
	5月強化合宿(1)	5/6(木)～14(金)	滋賀県・瀬田ボートコース
	5月強化合宿(2)	5/28(金)～6/8(火)	埼玉県・戸田ボートコース
	7月強化合宿	7/27(火)～8/2(月)	東京都・国立科学センター
	8月強化合宿	8/6(金)～24(火)	北海道・網走市
	9月強化合宿(1)	9/14(火)～25(土)	埼玉県・戸田ボートコース
	9月強化合宿(2)	9/28(火)～10/1	埼玉県・戸田ボートコース
	10月強化合宿	10/2(土)～21(木)	千葉県・小見川ボート場
	12月強化合宿	12/18(土)～23(木)	東京都・国立科学センター
	1月強化合宿	23/1/26(水)～2/1(火)	東京都・国立科学センター
	2月強化合宿	23/2/28(月)～3/5(土)	東京都・国立科学センター
	3月強化合宿(1)	3/8(火)～21(月)	岐阜県・川辺漕艇場
3月強化合宿(2)	23/3/28(月)～4/2(土)	東京都・国立科学センター	
U23	第1次強化合宿	5/25(火)～28(金)	埼玉県・戸田ボートコース
	第2次強化合宿	6/10(木)～13(日)	埼玉県・戸田ボートコース
ジュニア	第1次強化合宿	6/15(日)～19(木)	熊本県・斑蛇口湖ボート場
	第2次強化合宿	23年2月～3月	埼玉県・戸田ボートコース

(8) 競技者育成事業

本年度は、(財)日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成事業として、以下の「将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業」を実施する。

区分	事業名	開催日程	開催場所
ジュニア	U19 日本代表候補 選手強化合宿	12月中旬	埼玉県・戸田ボートコース

(9) 普及啓発事業

1) 全国マシンローイング大会の開催

第23回全国大会を平成22年9月～平成23年2月の間、全国9ブロックに加えて全国10拠点で開催し、参加者4,000名以上、前年度比5%増を達成目標とする。また、全日本選手権大会の出場予定者には本大会への参加を奨励する。

2) 第1回お台場レガッタ開催

ボート人口増大、魅力向上プロジェクトの一環として、一般愛好者、初心者参加を募り、参加者、観客が共に楽しめ、ボート競技の魅力を感じられる「ボートイベント」を東京都心の公共水域で開催する。

3) オリンピックムーブメントへの協力

オリンピックデー、その他のスポーツイベントを利用し、エルゴ大会の実施等を通じて広く全国にボートの魅力を伝える活動を推進する。

4) 関連団体の活動支援

中学生、高校生及び障害者ボート競技の振興を図るため、それらの関係団体の活動に対して助成金の交付と必要な支援を行う。

5) クルージャパンサポーターズ倶楽部

倶楽部メンバー募集とサポート活動を継続する。

(10) メディカルサポート、ドーピング検査事業

1) 戸田ボートコース開催の全日本選手権大会（全日本、全日本軽量級、全日本大学及び全日本新人）へ医師、看護師を派遣し、救急医事業務に従事する。

2) 全日本選手権大会（全日本、全日本軽量級、全日本大学、全日本新人）に於いて、大会内ドーピング検査を日本アンチドーピング機構（JADA）委託事業として実施する。

3) 日本アンチドーピング機構と連携して、アンチドーピングに関する普及・啓発講習会を競技団体・選手を対象に開催する。

5. スポーツマンシップの育成と競技者資格の決定に関する事業

(1) 競技者資格の決定

平成22年度日本ボート協会主催の競漕会に参加する競技団体及び競技者の資格決定を競技者規定に基づき実施する。

(2) 競技団体、競技者の登録

平成 22 年度の競技団体、競技者登録を行うとともに、年度登録状況を把握する。

(3) 審判員管理システムの構築

審判業務の効率化を図るため、審判員の資格把握、審判技術の向上、従事履歴等の管理システムを構築し、運用を開始する。

6. 競漕艇及び附属具の規格の決定と審査に関する事業

(1) 規格艇の審査と登録

日本ボート協会規格艇登録規定に基づき、規格艇の審査及び原簿登録に関する業務を実施する。

(2) 規格艇の検査

規格艇を競漕艇とする第 65 回国民体育大会、第 58 回全国高等学校選手権及び第 22 回全国高等学校選抜大会に於いて、艇の検査業務を行う。

(3) 情報収集と提供

競漕艇、レクリエーション艇、オール等の調査・研究・開発に資するため、専門情報を収集し、関係者へ提供する。

7. 各種ボート競技に関する図書の刊行に関する事業

(1) 協会広報誌の発行

「月刊ローイング」を定期発行する。読者管理システムを活用して新規購読者の獲得を行う。このほか、各種の紹介資料、報告書等を作成・配布し、本会事業の PR に努めるとともに、会員募集、協賛募集、寄附募集等に活用する。

(2) 指導教材の作成

公認ボートインストラクター養成用テキストを刊行する。

(3) 本会公式ホームページ

ホームページの速報化と掲載情報量のアップを図るとともに、本会の事業・広報活動に一層役立つよう内容充実に努める。

(4) 報道機関、マスコミへの対応・協力

東京運動記者クラブをはじめ報道機関、出版業界との関係を密にして、報道を通じて本会の活動の広報に取り組む。また、ニュースリリース等をタイムリーに発行し、報道機関へニュースソース提供を積極的に行う。

8. その他の目的を達成するため必要な事業

(1) 協会財政基盤の強化

日本オリンピック委員会、日本スポーツ振興センター、その他の団体と個人に対して、当協会の実施事業の重要性について理解を得るための活動を行い、可能な限りの助成と援助を要請する。さらに、協会の諸事業、募金活動等を通じて自主財源の確保に努めるなど、積極的に財政基盤の強化に取り組む。

(2) ボート人口増大運動の継続

都道府県ボート協会、全国ボート場所在市町村協議会、その他の関連団体等との連携を通じて、全国のボート関係団体・個人との交流を推進し、ボート人口増大、魅力あるボートライフの創出、イベント企画等を行い長期的な人口増大活動を展開する。

(3) 新公益法人制度移行に関する業務の推進

新制度のもとで協会運営を行うため、定款、事業計画、事業予算の作成、その他移行に必要な業務を推進する。

(4) 創立 90 周年記念行事の実施

本会が創立 90 周年を迎えるにあたり、記念式典及び表彰事業等を中心とした記念行事を実施する。

以上